

Titles of articles in botanical journals

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00053554

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



植物関連雑誌のタイトル紹介

(括弧内は頁数を示す。雑誌によっては編集部で植物自然史関係のもののみ選択した。雑誌の閲覧を許可された富山市科学博物館、富山県中央植物園に感謝いたします。掲載を希望される方は、雑誌を編集部までお送り下さい。)

○利尻研究 第31号 2012年3月

(〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町136 利尻町立博物館)

第31号 2012年3月—近藤哲也・吉田恵理・山岸真澄・愛甲哲也：利尻島に生育する栽培ヒナゲシ種子の札幌市における播種時期が発芽に及ぼす影響および生活史(7-17)／五十嵐 博・小杉和樹：利尻島におけるヤブボロギク(外来植物)の記録(55-58)／五十嵐 博：コバノハイキンボウゲ、小型のハイキンボウゲの新和名(61-63)／宮本誠一郎・佐藤里恵・佐藤雅彦：利尻島におけるサクラソウモドキの再発見(67-68)／吉田康子：絶滅危惧植物レブンコザクラの利尻島における保全単位の決定(73-78)

○知床博物館研究報告 第33集 2012年10月

(〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町49-2 斜里町立知床博物館)

浅沼 孝夫：絶滅危惧植物カイサカネラン(ラン科)の知床半島における再発見(1-6)

○上士幌町ひがし大雪博物館研究報告 第34号 2012年3月

(〒080-1403 北海道河東郡上士幌町字糠平 上士幌町ひがし大雪博物館)

丸山まさみ：北海道大雪山国立公園，然別湖の植物Ⅲ．大雪山系でヒダカキンバイソウ(キンボウゲ科)を確認(13-17)／山崎真実・丸山まさみ・持田 誠：北海道大雪山国立公園，然別湖の植物Ⅳ．然別湖および東雲湖の水生植物相(19-26)

○旭川市博物科学館研究報告

(〒078-8329 北海道旭川市宮前通東 旭川市科学館／〒078-8003 北海道旭川市神楽3条7丁目 旭川市博物館)

第4号 2011年3月—成田一芳・塩田 惇：旭川市旭山公園とその周辺の植物(9-26)

第5号 2012年3月—磯 清志・出 羽寛・成田一芳・舟橋 健・南 尚貴・山本和生・篠原隆明：旭川市科学館野外自然観察空間の生態系調査について(17-46)／有賀 誠・山田直佳・中田悌二・伊藤洋満・宮下和士：オオバナノエンレイソウの奇形について(59-68)

○仙台市科学館研究報告

(〒981-0903 宮城県仙台市青葉区台原森林公園4-1 仙台市科学館)

第21号 2012年3月—長島康雄・高橋真実：仙台市科学館自然観察園・岩石園の植物相(24-31)／攝待尚子・高橋真実・長島康雄：フィールド教材開発のための台森林公園の基礎調査概況—毎木調査と樹冠写真—(55-60)

第21号別冊 2012年3月—長島康雄・西城光洋：2011年東北地方太平洋沖地震津波被害後の七北田川河口の植生景観(5-11)／長島康雄・攝待尚子：2011年東北地方太平洋沖地震津波によって生じた樹木被害の概要(12-17)／長島康雄：2011年東北地方太平洋沖地震津波によって生じた防潮マツ林の列状倒木被害(33-38)／長島康雄：仙台湾域の老齢防潮クロマツ林に侵入する広葉樹の研究 1.構成樹種の樹型に着目した解析(41-48)

○秋田県立博物館研究報告 第37号 2012年3月

(〒010-0124 秋田県秋田市金足鳩崎字後山52 秋田県立郷土館)

阿部裕紀子・藤原睦夫：北東北植物分布図—セリ目植物—(1-30)

○フロラ山形 No. 68 2012年12月

(〒990-0826 山形県山形市霞城町1-8 山形県立博物館内 フロラ山形事務局)

門田裕一：山形県のトリカブト属植物(キンボウゲ科)(2-11)／高橋信弥：2012年 山形県フロラの動向

(12-23) / 沢 和浩：山形県内のスグリ属 (*Ribes* 属) 植物について (24-26) / 志鎌節郎：2012年に出会えた植物 (27-28) / 武浪秀子：2012年植物フィールドノートーキョスミウツボほか希少植物3種 (29-30) / 鈴木 暁：2012年 草木散歩より (31-34) / 土門尚三：山形県最上町の帰化植物 (35-38) / 佐藤靖夫：山形市郷土館敷地内の興味あるコケ類 (39-41) / 佐藤定四郎：山形城のサイカチについて (42-44) / 門間久右衛門：蔵王・五色岳 コマクサの誘い 2012 Transit Book より (45-49) / 土門尚三：酒田市飛島にセイタカアワダチソウついに上陸 (50) / 沢 和浩：'12RDB補完植物調査から (51-52) / 川上新一・鈴木 暁：報告：2011年の津波で被災した陸前高田市博物館の植物標本200点の修復作業 (53-56)

○茨城県自然博物館研究報告 第15号 2012年12月

(〒306-0622 茨城県坂東市大崎700 ミュージアムパーク茨城県自然博物館)

栗原 孝・岡 利雄・成島 明・小幡和男：筑波山塊南部 (宝篋山, 朝日峠, 雪入山, 権現山周辺) の維管束植物 第2報 (39-103)

○神奈川県立博物館研究報告 自然科学41号 2012年3月

(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館)

勝山輝男：日本で記録されたイネ科オヒゲシバ属の外来種 (27-33)

○神奈川自然誌資料 第33号 2012年3月

(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館)

小嶋紀行：三浦半島大楠山におけるタシロラン生育地の種組成と立地環境 (11-18)

○FLORA KANAGAWA

(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 県立博物館内 神奈川県植物誌調査会)

No. 72 2011年6月一佐々木シゲ子・野津信子・埜村恵美子・和田良子：神奈川県立境川遊水池公園の花ごよみ (868-870)

No. 73 2011年8月一久江信雄：丹沢でキンセイランを発見 (875-876) / 岸 一弘・岸しげみ：茅ヶ崎でダンバイヒルガオを確認 (876-877) / 岸 一弘・岸しげみ：平塚市土屋でツノアイアシを確認 (877) / 岸 一弘・岸しげみ：小田原市のウチワゼニクサ (877) / 奥津 均：レンブクソウの新産地 (877-878) / 秋山幸也：相模原市内でチャセンシダを確認 (878) / 佐々木シゲ子・野津信子・埜村恵美子・和田良子：2009年以降の横浜市内産植物について (878-880) / 勝山輝男：アズマギクが健在 (880-881) / 大西 亘・勝山輝男：箱根神山のオタカラコウ消滅寸前? (881) / 田中徳久：次の植物誌に向けて—チヂミザサは1年草か?! (882)

No. 74 2012年6月一大野好弘：アシガラスハマソウ (仮称) の発見 (883-884) / 勝山輝男：神奈川県新産のオオハタガヤ (884-885) / 田村 淳：神奈川県産樹木4種の分布落穂拾い (884-886) / 馬場しのぶ：大和市・泉の森にセリモドキ (887) / 諏訪部 晶：愛川町でニッポンイヌノヒゲを採集 (887-888) / 諏訪部 晶：相模原市内でキダチノズミガヤを採集 (888) / 諏訪部 晶：相模原市・愛川町でハイチゴザサを採集 (888-889) / 支倉千賀子：川崎市多摩区や宮前区でもクゲヌマラン大量に発生 (889-890) / 林 辰雄：ダールベルク・デージーの逸出帰化品 (890) / 三樹和博：箱根のササフローラについて (890-891) / 久江信雄：丹沢にもヒメフタバランが分布する (891)

○横須賀市博物館研究報告 (自然科学) 第59号 2012年3月

(〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台95 横須賀市自然・人文博物館)

大森雄治：アマモ属 (アマモ科) 海草の花の発生・形態学的研究 (19-25)

○長野県環境保全研究所研究報告 第8号 2012年3月

(〒381-0075 長野県長野市北郷2054-120 (飯綱庁舎) 長野県環境保全研究所)

尾関雅章・堀田昌伸・浜田 崇：赤石山脈南端部におけるハイマツ群落の分布：高分解能衛星画像を用いた把握 (69-73) / 横井 力・大塚孝一・尾関雅章：長野県環境保全研究所飯綱庁舎自然観察路の植物相補遺 I (75-76)

○伊那谷自然史論集 Vol.13 2012年3月

(〒395-0034 長野県飯田市追手町2-655-7 飯田市美術博物館)

蛭間 啓：東日本のブナ林に出現する広葉草本種の生育立地は太平洋側と日本海側でなぜ異なるのか—植生地理・植生史的視点からの1考察 (31-38)

○新津植物資料室年報 2011 2012年3月

(〒956-0816 新潟県新津市東町2-5-6 新津市地域学園内 積雪地域植物研究所 (新津植物資料室))

安富佐織：新津丘陵植物図譜 [4] コシノカンアオイ (1-2) / 石沢 進：分布上顕著な新津の植物 (11) (3-17) / 石沢 進・朱 雁：新潟県植物分布資料 (11) (18-24) / 登坂裕一：新潟県シダ植物の分布追加 (5) コシダ生育地 (25-27) / 木村 彰：越後の植物観察記 (その9) (28-30) / 佐々木博昭：新潟県におけるヒメモエギスゲの記録 (31-32) / 富永 弘：魚沼市小出地域の植物 (5) (33-37) / 桐生 誠：新潟県魚沼産植物図譜 [4] キツネノマゴ (38) / 渡辺洋子：佐渡島における植物観察記録 10 (39-42) / 中川清太郎：佐渡の植物分布追加記録 2011 (43-46) / 山本 明：新潟県の植物分布情報 2011 (47) / 石沢 進・朱 雁：新津川の植物 (49-51) / 朱 雁・石沢 進：新潟県における暖温帯植物の短報 (8) イタビカズラ・ツルグミ・ナワシログミの分布 (52-55)

○富山市科学博物館研究報告

(〒939-8084 富山県富山市西中野町1-8-31 富山市科学博物館)

第35号 2012年3月—佐藤 卓・太田道人：富山県に産する日本海要素植物とその近縁植物の分布の特徴 (4) —特にシダ植物について— (15-28) / 三浦憲人・岩坪美兼：日本産カキドオシ (シソ科) の全国倍数体分布調査産地記録 (129-135)

第36号 2012年6月—根来 尚：富山県におけるハナバチ類の訪花記録 (55-128)

○富山県中央植物園研究報告 第17号 2012年3月

(〒939-2713 富山県富山市婦中町上饗田42 富山県中央植物園)

志内利明・兼本 正・李 景秀・王 仲朗・馮 寶鈞・管 開雲：中国雲南省楚雄市紫溪山に野生するトウツバキの形態的多様性 (1-12) / 神戸敏成・三吉一光：培養条件がアツモリソウ属の完熟種子の一段階培養に及ぼす影響 (英文+和文要約) (13-21) / 中田政司・上野達也・李 景秀・李 宏哲・王 仲朗・魯 元学・沈 雲光・管 開雲：日本および中国産シュウカイドウ (シュウカイドウ科) の染色体数と花粉稔性 (英文+和文要約) (23-29) / 山下寿之：縄ヶ池の植生 (31-41) / 兼本 正・志内利明・王 仲朗・馮 寶鈞・管 開雲：中国雲南省のトウツバキ古樹資料 (2) (43-53) / 大原隆明・富山県中央植物園友の会植物誌部会・山下寿之・川住清貴：富山県フロラ資料 (16) (55-73) / 橋屋 誠：富山県高等菌類資料 (10) (75-80)

○富山の生物 第51号 2012年3月

(〒930-8555 富山県富山市五福3190 富山大学理学部生物学教室 富山県生物学会)

布村 昇：舟川の生物調査にあたって (1-2) / 氷見栄成・佐藤 卓・小川徳重・野口 泉：富山県入善町舟川流域の森林群落構造 (3-11) / 佐藤 卓・氷見栄成・金子靖志・野口 泉・小川徳重：富山県入善町舟川流域にある負釣山稜線の森林群落構造 (13-21) / 岩坪美兼：富山県における東南アジア産トウゴマ (トウダイグサ科) の栽培 (49-51) / 佐藤 卓：富山県魚津市大平山のブナ林の森林構造 (53-57) / 佐藤 卓：2011年全国ブナ結実状況 (59-65) / 長井幸雄：富山県植物雑記 (16) 大笠山のヒノキ林 (67-68)

○石川県白山自然保護センター研究報告 第37集 2010年12月

(〒920-2326 石川県白山市木滑ヌ4 石川県白山自然保護センター)

三浦憲人・野上達也・吉本敦子：白山室堂における外来植物除去作業で採集したアカミタンポポ (*Taraxacum laevigatum*) の染色体 (1-4) / 吉本敦子・野上達也：石川県に生育する県指定希少野生植物種オキナグサ *Pulsatilla cernua* (Ranunculaceae) の現状 (5-12) / 野上達也・中村こすも・小谷二郎・野崎英吉・吉本敦子：石川県のブナ科樹木3種の結実予測とクマの出没状況, 2012 (13-30) / 野上達也・吉本敦子：白山公園線 (石川県) におけるセイタカアワダチソウ (*Solidago altissima*) の分布と除去 (31-36)

○河北潟総合研究 第 15 巻 2012 年 3 月

(〒920-0267 石川県河北郡内灘町字大清台 302 NPO 法人河北潟湖沼研究所)
川原奈苗・高橋 久・白井伸和：石川県の低地湖沼で確認された植物リスト (5-22)

○石川県立自然史資料館研究報告 第 2 号 2012 年 3 月

(〒920-1147 石川県金沢市銚子町 441 石川県立自然史資料館)
古池 博・本多郁夫・濱野一郎・野村外喜子・小野ふみ糸・白井伸和・高木政喜・米山競一：金沢城公園（金沢城址）の植物相，その現状と拳動 2. 1992 年から 2005 年の期間の金沢城公園における植物の種類の変遷 (9-33) / 高木政喜・本多郁夫：能登半島で発見されたオニバスの意義 (57-58)

○鳳来寺山自然科学博物館報 第 41 号 2012 年 3 月

(〒441-1944 愛知県新城市門谷字森脇 6 新城市鳳来寺山自然科学博物館)
小林元男：東三河の植物分布 (1) (1-4) / 小林元男：栽培漁業センターの植物 (5-20) / 成田 務：愛知県におけるキサゴゴケの現状と新産地 (21-23) / 成田 務：愛知県産蘚類目録 (予報) 2011 (24-32) / 中西正：カタクリ群落の立地と個体識別によるカタクリの生長 (2) (33-38) / [新城市自然環境基礎調査報告 (5)]
成田 務：新城市 乳岩川・亀淵川のクケ植物 (97-100) / 加藤等次：大島ダム (朝霧湖) 周辺の植物 (101-110)

○ため池の自然 第 52 号 2012 年 6 月

(〒467-8610 愛知県名古屋市瑞穂区汐路町 3-40 名古屋女子大学食品衛生学研究室 杉山 章方 ため池の自然研究会)
飯尾俊介・浜島繁隆：名古屋市守山区のため池にみる水草相の変化 (9-12)

○京都植物

(京都植物同好会：〒606-0026 京都府京都市左京区岩倉長谷町 486 1F1-3 田中 徹)
第 30 巻第 1 号 2012 年 1 月—村田 源：日本一のシイ (スダジイ) の巨木 舞鶴市大浦半島の成生岬に (11-12) / 田中 徹：この一年 こんな芽に会いました (13-15) / 山本義則：保津峡のケイリュウタチボスミレらしきスミレ類について (15-17) / 山本義則：京丹波町山地の露岩地帯における着生ランの調査 (18-22) / 関藤郁子：琵琶湖岸にタテバチドメグサが群生 (23-24)
第 30 巻第 2 号 2012 年 9 月—成田研一：『深泥池』の池周辺で見られる主な水生植物 (9-14) / 光田重幸：クモランのプロトコーム (14-16) / 光田重幸：愛宕山のベニバナヤマシャクヤク (17-18) / 赤松富子：丹後半島の廃村をたずねる (18-20) / 近藤和男：シモバシラ (20) / 近藤和男：マルバウマノズクサ発見 (21-22) / 関藤郁子：キビノミノボロスゲとの出会い (22-24)

○みねはな 第 58 号 2011 年 3 月

(〒603-8112 京都府京都市北区小山元町 44 吉川直人方 みねはな会)
谷亀高弘：ラン科オフリス属植物の栽培について (1-6) / 神園英彦・吉川直人：日本の稀少・絶滅危惧植物 (2) ラン科植物② (巻頭カラーページの解説) (7) / 瀬野純一：エチゼンカンアオイの開花について (22-24) / 井上康彦：シダ植物雑文 (2) (25-28) / 村田 源：藤袴は蘭草ではなかった (29-34) / カノココリの今昔 (35-40) / 片山泰雄：四国の「ふくじゅそう」事情 (45-47) / 内藤登喜夫：ナンバンギセルとオオナンバンギセル (48-49) / 村谷克彦：咲き分けヤマラッキョウ (50) / 小川聖一：咲き分けヤマラッキョウの栽培 (51) / 高木芳子：黄花のホソバウマノズクサ (アリマウマノズクサ) (52-53) / 高橋 亮：ホソバウマノズクサ (アリマウマノズクサ) 黄花 (54) / 西口紀雄：鹿児島・甕島のキク (55-58) / 井上康彦：変わり花個体との出会い記 1 (59-62) / 小川聖一：特選・変わり花 2 題 白花タマムラサキと緑花ウメバチソウ (63-64) / 伊東吉夫：山で見かけた色々な腐生植物 (64-65) / 平家喜代子：四国 (愛媛県) のハンショウヅルを見て (67-69) / 日原誠介：日本レッドデータプランツ繁殖記 (15) —沖繩諸島の植物— (109-113) / 高林成年：ルイラソウ属の仲間 *Ruellia* L. Acanthaceae (114-120) / 美崎英世・陽子：四川省・雲南省のキケマン属 (121-127) / 瀬野純一：中国地方におけるマムシグサの 2 タイプについて (128-130) / 井上修爾：*Arisarum vulgare* の型 (131) / 吉川直人：ヨーロッパの植物 (132-133) / 平井佐代子：交野桜 (140-141) / 久志博信：夏の長白山 (白頭山) (142-146)

○南紀生物 第54巻第2号 2011年12月

(〒646-0028 和歌山県田辺市高雄1-25-18 玉井済夫方 南紀生物同好会)

山本修平：近畿地方におけるアオイゴケ（ヒルガオ科）の分布（134-136）

○和歌山県立自然博物館館報 第30号 2012年11月

(〒642-0001 和歌山県海南市船尾370-1 和歌山県立自然博物館)

内藤麻子・和歌山県レッドデータブック改訂委員会植物部会：那智山維管束植物目録（予報）（58-69）

○兵庫の植物 第22号 2012年5月

(〒654-0121 兵庫県明石市大蔵谷清水583-36 小林禮樹 兵庫県植物誌研究会)

柳川 宏：兵庫県で最近見つかったハチジョウベニシダの形態と生育地（1-2）／生嶋史朗：2006～2011年に淡路島で新たに記録および産地を確認した植物（3-20）／水田光雄：宝塚市北部（西谷地域）の希少植物（3）（21-25）／矢内正弘：兵庫県産の植物図（12）スゲ属（25-92）／迫田昌宏・小林禮樹・松岡成久・黒崎史平：淡路島南部におけるシタキソウの生育環境（109-114）／橋本光政：兵庫県産絶滅危惧植物10種の1970年代における観察と採集による記録（115-122）／小林禮樹・松岡成久・黒崎史平：兵庫県内におけるナガボノワレモコウの生育地および生育状況の19年間の変化（123-128）／江村伸一：尼崎市で確認されたササバモ（ヒルムシロ科）の生育環境—自然再生の指標として—（129-130）／小林禮樹・黒崎史平・宇那木 隆・松尾幹生・生嶋史朗・丸岡道行・山本一潔：洲本市由良町に移植されたハマアザミの生育状況の推移（4）—2011年の個体群追跡調査—（131-138）

○倉敷市立自然史博物館研究報告 第27号 2012年3月

(〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1 倉敷市立自然史博物館)

狩山俊悟・地職 恵・片岡博行：岡山県植物誌資料（10）岡山県のキク科タンポポ属（13-29）／狩山俊悟：岡山県植物誌資料（11）岡山県のエゴノキ科（31-39）

○岡山県自然保護センター研究報告 第19号 2012年3月

(〒709-0524 岡山県和気郡佐伯町田賀730 岡山県自然保護センター研究報告編集委員会)

地職 恵・高見祐一：岡山県におけるネコノメソウ属（その1）—初記録のチシマネコノメソウとマルバネコノメソウの追加産地—（23-28）／片岡博行・西本 孝：岡山県における外来食虫植物の侵入状況 その3—ナガエモウセンゴケの生態および引き抜き除去について—（29-41）

○比婆科学 第241号 2012年4月

(〒727-0013 広島県庄原市西本町1丁目7-7 中村慎吾方 比婆科学教育振興会)

吉野由起夫：広島県の維管束植物に関する文献目録（8）、補遺と追加（7）（27-37）／高杉茂雄：広島県におけるコケミズ分布について（40-41）／高杉茂雄：広島県にもミヤマミズが自生（41-42）

○広島市植物公園紀要 第30号 2012年3月

(〒731-5156 広島県広島市佐伯区倉重3丁目495 広島市植物公園)

一橋賢三・近藤芳子・斉藤隆登・井上尚子・世羅徹哉：広島県フロラ覚書（6）広島県に自生するスゲ属植物に関する新発見（1-6）／世羅徹哉・西田知世・石田源次郎・星 良和：広島県に自生するアケボノシュスランを用いたRAPD解析（英文+和文要約）（7-14）／濱谷修一・青山幹男：カタセタム垂族（ラン科）6種の核形態学的研究（英文+和文要約）（15-30）／世羅徹哉・青山幹男・石田源次郎：ラン科スタンホペア垂族14種における染色体観察（英文+和文要約）（31-50）

○島根県立三瓶自然館研究報告 第10号 2012年3月

(〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根1121-8 島根県立三瓶自然館)

高橋佳孝・井上雅仁・堤 道生：ススキ（*Miscanthus sinensis*）型草地植生に及ぼす火入れと放牧の影響（1-8）／井上雅仁・松村美雪・中西正美・柳浦正夫：タンポポ調査・西日本2010で確認された島根県のタンポポについて（9-18）

○ホシザキグリーン財団研究報告 第 14 号 2011 年 3 月

(〒 691-0076 島根県出雲市園町沖の島 1659-5 (公財) ホシザキグリーン財団)

林原毅一郎・前田泰生・北村憲二：山陰地方において同所的に分布するスイカズラ科 2 種、ウグイスカグラとタニウツギにおけるポリネーション・シンドローム (1-30) / 荒木 悟・國井秀伸：太田川河口域における塩生植物群落の現況 (251-256)

○香川県立五色台少年自然センター自然科学館研究報告 第 37 巻 2012 年 3 月

(〒 762-0014 香川県坂出市王越町木沢 1901-2 香川県立五色台少年自然センター自然科学館)

木下典和：小豆島西域におけるタンポポの分布と周辺の植生 (1-8)

○徳島県立博物館研究報告 第 22 号 2012 年 3 月

(〒 770-8070 徳島県徳島市八万町向寺山徳島県文化の森総合公園 徳島県立博物館)

浜 直大・茨木 靖：徳島県に漂着したトウダイグサ科 *Omphalea* 属の種子 (139-142) / 茨木 靖・小川 誠・木下 覺・中村俊之：徳島県から新たに発見されたナンゴクヒメミソハギ *Ammannia auriculata* Willd (ミソハギ科) (143-145) / 小川 誠：東日本大震災により被災した植物標本の修復 (161-168)

○長崎県生物学会誌

(〒 852-8521 長崎県長崎市文教町 1-14 長崎大学教育学部生物学教室内 長崎県生物学会)

No.70 2012 年 6 月—中西弘樹：高銓島の植生と植物相 (1-5) / 中西弘樹：長崎県植物誌ノート (37) (16-18) / 栗生恵理子・大谷拓也・野添裕一・川久保昌博：北九十九島におけるハマボウの分布 (29-35)

No.71 2012 年 12 月—千々布義朗：長崎県産野生生物拾遺 (3) (1-6) / 中西弘樹：長崎県植物誌ノート (38) (15-18) / 中西弘樹：二神島の植生と植物相 (19-24)

○佐賀自然史研究

(〒 849-0303 佐賀県小城郡牛津町大字牛津 152-4 上赤博文方 佐賀自然史研究会)

第 16 号 2011 年 5 月—鶴田靖雄：2009 年アマナ調査隊活動報告～生物分布調査の新たな試み～ (37-42) / 宮崎八洲雄：佐賀県内で近年確認した希少植物について (2) (63-64)

第 17 号 2012 年 5 月—上赤博文：佐賀平野に於けるドクゼリの分布～2009 年ドクゼリ調査隊活動のまとめ～ (1-8) / 上赤博文：侵略的に増殖する絶滅危惧植物 (1) ヒシモドキ (9-14) / 宮崎八洲雄：佐賀県内で近年確認した希少植物について (3) (43-46) / 宮崎八洲雄：佐賀県におけるヤクシマアカシユスラン (ラン科) の確認記録 (49)

○宮崎県総合博物館研究紀要 第 32 輯 2012 年 3 月

(〒 880-0053 宮崎県宮崎市神宮 2 丁目 4-4 宮崎県総合博物館)

福松東一・斉藤政美・宮崎県総合博物館野外調査会：高鍋湿原の花暦 (23-36) / 斉藤政美：近年の帰化植物情報 (37-42) / 斉藤政美：新種発表されたナベワリ属 2 種について (43-48) / 斉藤政美：宮崎県新産のシダ 2 種 (49-51)

○鹿児島県立博物館研究報告 第 31 号 2012 年 3 月

(〒 892-0853 鹿児島県鹿児島市城山町 1-1 鹿児島県立博物館)

大屋 哲・寺田仁志：鹿児島県三島・黒島の植物採集記録 (1-4) / 寺田仁志・大屋 哲：沖縄県久高島の隆起珊瑚礁上植生について (5-30) / 寺田仁志・大屋 哲：鹿児島県宝島「女神山」の森林植生と東海岸の隆起サンゴ礁上植生について (31-57)

(中田政司 編)